

電波時計 取扱説明書 (掛時計)

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元へ保管して、必要に応じてご覧ください。

製造 株式会社 **リズム**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

CITIZENの商標は、シチズン時計株式会社のライセンスに基づき使用されています。

ご使用の際は、巻末の「**使用上のご注意**」を必ずお読みください

電池は付属しておりません。単3形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

(正面)

- 時計(短い針)
- 分針(長い針)
- 秒針
- 受信表示ランプ
- 明暗センサー

(裏面)

電池の入れ方 ①

電池ふたを開け、⊕表示に合わせて電池を入れ、電池ふたを閉める。
電池の⊕を逆向きに入れると、電池からの液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池ふた 開く 閉じる

単3形アルカリ乾電池(推奨) 2個

電池を入れたとき、設置場所を変えたとき、誤受信したときに押しします。

使用方法 電池を入れて、標準電波を受信して時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせる場合は、「**手動での時刻合わせ**」を参照してください。
◎実際など電波の受信しやすいところでお使いください。

- 電池ホルダーの⊕表示に合わせて電池を入れる**
(電池の入れ方)を参照して電池を正しく入れてください。
- 強制受信ボタンを押す** (標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方)参照
受信表示ランプが点灯し、受信を開始します。また、針が早送りで、4:00、8:00、12:00のいずれかの時刻に移動して、**受信が終わるまで早送ります**。
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。
※早送りの途中で針が一時的に停止することがあります。
※受信中はボタン操作をしないでください。
- 時計を掛ける**
時計の**掛け方**に従い、時計を確実に掛けてください。
- 受信開始から16分後に受信表示ランプで受信結果を確認する**
受信表示ランプが2秒に1回点滅していれば、**受信に成功し、正しい時刻を表示します**。消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信するところを探すが、**標準電波を受信できない場合**を参照してください。

標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方

② **強制受信ボタンを押す**

針は4:00、8:00、12:00のいずれかまで停止します。

電波サーチ

③ **受信局を表示**
4回点滅 6回点滅 消灯したまま

受信表示ランプ点灯時 16~240秒まで

福島局 (40kHz) 九州局 (60kHz) 受信できない

④ **電波の状態を表示**
点灯 消灯
良好 受信できない

⑤ **受信開始から最長16分後 針が動き出す**

⑥ **標準電波を受信できない場合**

電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

- 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。
- 強制受信ボタンを押します。
- 受信表示ランプが約3秒点灯後に受信を開始。針は早送りで移動し、4:00、8:00、12:00のいずれかの時刻に停止します。
- 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
- 点灯の状態を確認します。
- 電波の電波良好→受信できる可能性大 消灯: 受信できない→場所を移動する

○点灯と消灯が繰り返される場合は電波が弱いので、受信に失敗する可能性があります。○電波サーチ中、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。

⑥ 受信結果を表示します。
受信成功: 消灯に1回点滅
受信失敗: 2秒消灯

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
※受信表示ランプは、24~25時間以内の受信結果を表示します。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手で時刻合わせをして一晩そのままにしておくを受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓や取り取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。
- 時刻を合わせ使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手で時刻を合わせて使用してください。電波を受信しないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

受信できない場合は、下記の操作で時刻を合わせるによりご使用になれます。

手動での時刻合わせ 電波を受信できないとき、任意の時刻に合わせて

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。

- ※ **電波受信機能のON/OFF操作**参照。
- 時刻合わせボタンを押すと、針が動き始めます。
○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
○時刻合わせボタンを押してつづけて早送りになります。
○時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。

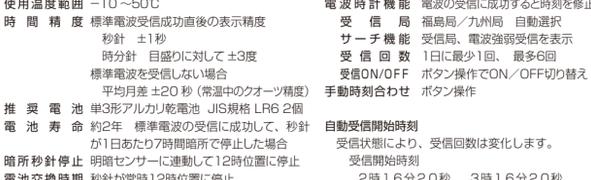
秒針の動きについて
時刻合わせボタンを離したときに、ゼロ秒に設定されますが、秒針が指している時刻になるまで、最長で61秒程度停止いたします。

電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらすとお使いになるときは、電波を受信しないようにすることが出来ます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

電波受信機能をOFFにするには(停止するには)

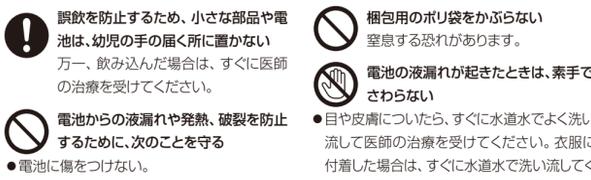
図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときは、操作をやり直してください。



※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりして時刻を表示します。
※電池を取り出しても設定を長い時間保持しています。

電波受信機能をONにするには(開始するには)

電波受信機能をONに設定して工場を出荷しています。
時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



明暗センサーのはたらき

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針を12時位置で停止し、受信表示ランプを消灯させます。昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。十分明るいところで秒針が12時位置で停止している場合は、電池の交換が必要で、電池の交換時期お知らせ機能参照。

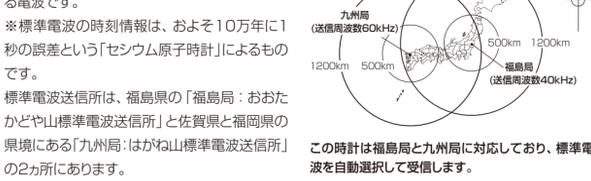
時計の掛け方

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。
○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
強制 ○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。

注意 ○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図の通り、壁面をしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式の時計が落下する危険がありますので、ご注意ください。

電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになります。時計と分針は、このような状態になってから約1か月程度動きませんが、速やかに新品の電池にすべて交換してください。
※強制受信ボタンを押して受信しているときや手動で時刻を合わせているときは、明るいところでも秒針が停止します。

電池の交換 早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池を長期間使い続けると、電池からの液もれが発生しやすくなります。電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために下記のことに気を付けてください。

- 時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いているでも2年に1回定期的に交換する。
- 古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ乾電池を混在して使用しない。
- 電池の⊕を逆に入れない。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときは、**強制受信**を押してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、水でふき拭いてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

電池・時計の廃棄

- お住まいの自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときには、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10 ~ 50℃	電波時計機能	電波の受信に成功すると時刻を修正
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時刻合わせボタン押し時 目盛りに対して ±3度 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±20 秒 (常温中のクォーツ精度)	受信局	福島局/九州局 自動選択
推奨電池	単3形アルカリ乾電池 JIS規格 LR6 2個	サーチ機能	受信局、電波強度受信を表示
電池寿命	約2年 標準電波の受信に成功した場合 が1日あたり7時間暗所で停止した場合	受信回数	1日に最少1回、最多6回
暗所秒針停止	明暗センサーに連動して12時位置に停止	受信ON/OFF	ボタン操作でON/OFF切り替え
電池交換時期	秒針が常時12時位置に停止	自動時刻合わせ	ボタン操作
お知らせ機能		自動受信開始時刻	受信状態により、受信回数は変化します
		受信開始時刻	2時16分20秒 3時16分20秒 4時16分20秒 12時16分20秒 13時16分20秒 14時16分20秒

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ◎は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

- 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。
- 電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る
●電池に傷をつけない。
●電池を分解しない。
●電池をショートさせない。
●電池を充電しない。
●電池を加熱しない。
●電池を火の中に入れない。
- 梱包用のポリ袋をかぶらない
窒息する恐れがあります。
- 電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない
●目や皮膚に当たると、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アレルギー反応、皮膚炎、皮膚刺激などの障害が発生する危険性が高くなります。
●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社販売所にお問い合わせください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

- 電池の⊕を正しく入れない
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。
- 強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。
- 浴室やサウナ、湯室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。
- ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。
- 分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。
- 下記のような場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。
●直射日光が当たる所。
●暖房機器からの風が当たる所。
●温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
●火気のそば。
●ほこりが多くなる所。
●強い磁気が発生する機器のそば。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●プール、温泉場などガスの発生する所。
●調理場など多くの油を使用する所。
●ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期使用しないときは電池を外す。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いているでも定期的な交換を。
- 時計が止まったときは電池を取り出す。
- 幼児の手の届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の電池は、形状的に本製品には不向きな場合があります。
(例) Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池 ※「EVOLTA」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

- 温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。
- 買い置きの電池は、保管状態や電池の使用推奨期限により、電池寿命が短くなる場合があります。

電波時計について

電波時計とは
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは
標準電波(JY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10年間に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局」および山形県の「山形局」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(https://jij.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や障害などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波を受信できません。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時刻を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

電波を受信しにくい環境

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- ビルの中、ビルの谷間、地下
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- スチール机等の金属製家具の上や近く

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

- 修理部品の保有について
電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート <https://rhythm.jp/support/>
商品照会の際は、製品裏面または底面に表示する製品番号(型番)をご確認ください。
例. 4MY○○○.4MYA○○○.8MY○○○.8MYA○○○
お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。